

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム らいく穂波店		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ~ 2026年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日 ~ 2026年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様の特性や得意・不得意、身体機能等の情報を参考に、本人様に適した個別の課題を設定して支援することができる	・各専門職(PT、OT、保育士)の専門性を活かし、利用者様1人1人に合わせたプログラムの立案、提供を行っている	・専門職同士での情報交換 ・利用者様への支援の方針について話し合い、目標をスタッフ間で共通したうえで支援を行う
2	専門職によるアドバイスや自宅で取り組めるメニューの提供。	・学習時の姿勢の崩れや運動時の不器用さの原因を身体機能面や感覚統合の観点から分析し、専門的な視点で保護者に分かりやすく説明している	・内部、外部研修に参加し、専門的な知識・技術の向上、習得。
3	プレイルームが広く、運動療育でのアプローチが十分に行える。	・学校の体育で行われる跳び箱、縄跳び、鉄棒などの運動も取り入れ、お子様のペースに合わせて練習を行っている	・利用者様の苦手な運動を専門職が分析し、必要な動作訓練や身体機能向上に向けた訓練をスタッフ間で共有し、支援に取り組む

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置上は人手が足りているが、出勤予定だったスタッフが急な休み(病欠、私用等)になった時に、出勤するスタッフの負担が大きくなってしまふ	・スタッフの欠席が出てしまうと、平日の午後、土曜、祝日の利用者が集中しやすい時間帯の人手が不足してしまい、スタッフ1人1人の負担が大きい	・人員確保(正社員だけでなくアルバイトやパートの募集)を行う
2	安全に子供たちが運動に参加できる環境整備が不足している	・運動の部屋内にある鉄柱が剥き出しになっており、活動中にお子様がつぶかって怪我をする可能性がある	・鉄柱を保護する緩衝材の購入、設置

3	個別療育のための、利用者様(保護者様)同士の交流、 情報交換の場がない	・個別療育である以上、利用者(保護者)同士で交流する 場面や機会がない ・利用者様同士の相性やニーズ、ご利用できる時間帯を一 致させることが困難	・複数人参加できるイベントを実施し、年齢ごとに時間帯 を分けて行うことで、同年代の利用者様同士の関りがもて るよう検討していく
---	--	---	---

公表 者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム らいく穂波店

公表日 2026.4.27

利用児童数 10

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思	10	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか	10	0	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支	10	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容	8	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に	10	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援	10	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思	10	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこども	2	1	3	4		
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に	10	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか	10	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング	8	0	1	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状	10	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0	ご指摘ありがとうございます 多大なるご不快な念を抱かされましたこと、心よりお詫 言ひ申し上げます。今後、スタッフの教育、指導の 際の参考にさせていただきます。	失敗してしまった時、笑われたことがあり気にな ってしまいました(本人がどう思ったかは分かりませ んが…)

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の	2	2	3	3		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	9	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	10	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡	5	1	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ	7	3	0	0	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	4	3	0	3		
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等	9	1	0	0		
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や	9	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0		

## 公表 所における自己評価結果

事業所名		発達支援ルーム らいく穂波店				公表日	2026.4.27
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3		スタッフの急な休みにより、配置人数がギリギリになり、慌ただしい場合がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	4	1		ブレイルーム内の鉄柱は保護材での補修が必要	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもが安心して過ごせる環境になっているか。	5	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)が実施されているか。	2	3	本部との会議内容を全スタッフと共有し、目標や達成に必要な業務改善内容を検討している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。	4	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施しているか。	5	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の関係性を構築しているか。	5	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者の承認を得ているか。	5	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォローアップを行っているか。	4	1			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援活動プログラムの立案をチームで行っているか。」	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	(各専門職から)専門的なアドバイスを受けながら、立案を行う	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援内容を確認しているか。	4	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援内容を確認しているか。	3	2	当日もしくは翌日に行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に役立てているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要に応じて実施しているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との連携を図っているか。	5	0		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育施設等と連携を図っているか。	2	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進に取り組んでいるか。	5	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との連携を図っているか。	5	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて支援を行っているか。	1	4			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこ	0	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況	5	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ	3	2		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等に。	0	5		父母の会がない 個別対応のため交流機会がない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整	4	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用すること	5	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運	0	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、	5	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備	5	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確	5	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対	3	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要	5	0		

心	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策につい	5	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	5	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	4	1		